

金大中

の死刑判決を弾劾せよ

本日、韓国大法院は金大中氏にたいし二度目の死刑判決に上告棄却決定を宣告し、数時間後、韓国政府はペテン的にも「減刑」を発表した。

判決はまったくのデッチあげである。「罪状」の柱をなすとされる「光州事態の背後操縦」「韓民統への関与」なるものは、多くの事実ねつ造と歪曲に満ちたものである。くわえて第一審、二審では判決文の存在すらあきらかにされていないのである。われわれは日本の暴挙を徹底的に弾劾する。南朝鮮人民の革命運動との連帯をかけて、これを絶対ゆるさない。

張本人は日本帝国主義者だ

金大中裁判は、五月九州蜂起を先頭とした南朝鮮人民のたたかいへの、見せしめ的な政治裁判である。朴にかわって登場した全斗煥政権は、金大中氏抹殺をもって朴をうわまわる軍事独裁体制を極限的に強化しようとしてきた。そしてこの策動を支え、金大中氏らを死に追いやりんとしている張本人こそ、わが日本帝国主義者である。日帝「鈴木政権は口先では「金大中裁判に憂慮をいんでいる」と発言してきた。しかしこれがまったくのペテンであることは、彼らが全世界に先がけて全斗煥政権支持の態度をうちだし、政経両面にわたる全斗煥政権の援助を大々的にくりひろげ、そして陰に陽に金大中氏への非難をくりかえしてきたという事実からしてあきらかである。

全斗煥政権を解放せよ

「全斗煥を支える日本帝国主義者たちの退放」——昨年十月一七日、厳しい弾圧下で南朝鮮の学生たちはこう叫んで決起した。そしてこれは南朝鮮人民の総意であるとみるべきである。日帝足下のわれわれ労働者人民はいまこそこのたたかいにこたえ、日帝の朝鮮侵略反革命粉砕、日帝「全体制打倒」、日本帝国主義打倒を力にかけて総決起しなければならない。

鈴木政権下でつよまる戦争とファシズム準備の嵐に抗し、金大中氏や、九州蜂起被害、在日韓国人「政治犯」など全政治犯解放にむけ、あきらまぬ闘いをまきかこそう。

反帝戦線(全朝)